

ニッポンハナダカバチが兵庫県佐用町大撫山で営巣

八木 剛・堀内湧也

2017年8月5日, 兵庫県佐用町西河内の兵庫県立西はりま天文台公園内「キャンプファイヤー場」で, ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* の営巣を確認した(図1). キャンプファイヤー場は, 大撫山山頂(標高435m)から南南西に約150m, 標高約420m地点にある. その一角に, 3m四方程度, おそらく凹地の解消のため新鮮な真砂土が投入されており, そこに, 数個体の本種の営巣が見られた. 同所的にクロアナバチも営巣していた.



図1 兵庫県佐用町大撫山(西はりま天文台公園)で営巣していたニッポンハナダカバチ.

本種は, 兵庫県内では, 淡路島と日本海側の自然海岸に生息していることが知られている(遠藤ほか, 2007)ほか, 神戸市須磨区離宮前町の児童公園(山口, 2002), 神戸市須磨区高倉台の街区公園の砂場(高島, 2015), 三田市西部の小学校内の砂場(中峰, 2015)といった, 人為的に創出された砂地での営巣も記録されている.

今回の発見地点は, 最寄りの海岸から直線距離で25km強の内陸部に位置するだけでなく, 山頂付近であるという点で, 他の事例とは立地条件を異にしている. 少なくとも学校や河川敷は周囲1km以内にはなく, 山林環境を越えて上昇しなければ当地へ到達できない. パッチ状に形成された一時的な砂地を利用すべく分散する性質も, 本種は備えているのだろう.

なお, 当日は, 「姫新線イベント列車 第1弾! 「むしむし号」で行くむしとりペナントレース&むしむしたいけん in 西はりま天文台公園」(主催: 姫新線利用促進・活性化同盟会)が行われており, キャンプファイヤー場は, 活動拠点として使用されていた(図2). 約80名の親子連れの利用者やスタッフは, 営巣地とその付近を頻りに往来していたが, 本種の存在はほとんど意識されていなかった. 地表付近を俊敏に飛翔する本種の性質により, 個体数が少なければ, 一般の人の目には留まらないものと察せられた.



図2 その一角で営巣が見られた西はりま天文台公園キャンプファイヤー場. イベント実施のためテントが張られている. 営巣地は写真左から2番目のテントの前あたり.

○参考文献

- 遠藤知二・西本 裕・橋本佳明・中西明徳, 2007. 兵庫県北部の砂浜海岸におけるニッポンハナダカバチの分布. 人と自然, No.18, 13-20.
 高島孝夫, 2015. 神戸市須磨区に発生していたニッポンハナダカバチ. きべりはむし, 37 (2), 65.
 中峰 空, 2015. 兵庫県三田市西部の小学校敷地内でニッポンハナダカバチが営巣. きべりはむし, 37 (2), 66.
 山口福男, 2002. 児童公園の砂場にハナダカバチが発生. きべりはむし, 30(2): 47.

(Tsuayoshi YAGI 兵庫県立人と自然の博物館)
 (Yuya HORIUCHI 宝塚市)

キバネツノトンボの棲息地続報

東 輝弥

本誌第37巻第1号で3ヶ所の棲息地を報告した(東, 2014)。この度もう1ヶ所棲息地を確認したので報告する。

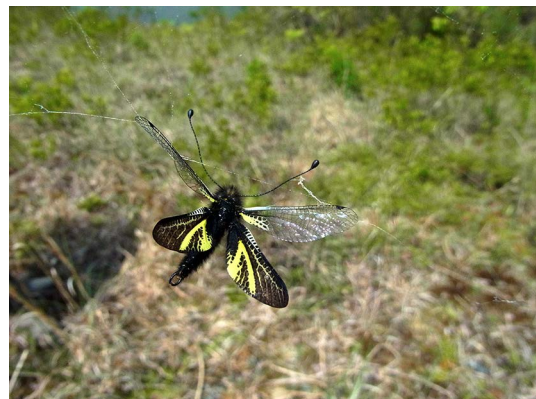


図1 クモの巣にかかった個体.



図2 交尾中.

2017年5月11日に加東市上久米でトンボの調査のために訪れたときに発見した。ここの農業用ため池でその堰堤に棲息していた。その際蜘蛛の巣にかかった1♂を採集した(図1)。翌12日にも訪れ13♂1♀を確認、また1ペアの交尾も観察した(図2)。

この確認において兵庫県内でキバネツノトンボの棲息地は4カ所になった。

前回の報告地3ヶ所は本年(2017)も棲息を確認した。

○参考文献

- 兵庫県自然保護協会, 1997. 兵庫の野生生物 絶滅が心配されている動物たち. 神戸新聞総合出版センター
兵庫県, 2003. 兵庫県版レッドデータブック 2003. 兵庫県民生活部環境局自然環境保全課
兵庫県, 2012. 兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック 2012(昆虫類). 財団法人ひょうご環境創造協会
東輝弥, 2014. キバネツノトンボの棲息地. きべりはむし, 37(1): 39-40.

(Teruya AZUMA 兵庫県高砂市)

兵庫県芦屋市におけるキマダラカメムシの記録

長田庸平

キマダラカメムシ *Erthesina fullo* は南方系のカメムシで、近年国内では分布拡大をしている外来種である。近畿地方では、2005年に初めて京都府八幡市や大阪府枚方市で発生が確認され(吉鶴・矢崎, 2005), その後は大阪府茨木市でも記録された(谷角, 2008)。兵庫県では2008年にたつの市で記録され(佐藤, 2008), 2012年には尼崎市でも確認された(夏秋, 2012)。また、兵庫県伊丹市でも普通に見られるようになった(長島, 2016)。筆者は、これまで記録がないと思われる兵庫県芦屋市で本種を目撃・撮影した。



1ex (写真), 兵庫県芦屋市山芦屋町, 10. VI. 2017. 筆者撮影

この日は、山芦屋町の住宅地を流れる芦屋川沿いのコンクリートの壁に静止している本種を確認し、撮影を行った。芦屋川沿いには、本種の寄主であるソメイヨシノが植栽されており、ここで発生していると思われる。

近年分布拡大している本種の兵庫県南東部における記録の一例として、報告する。大阪府や兵庫県での分布拡大の状況より、京阪神でも広く分布拡大している可能性があり、今後の動向には注意していきたい。

兵庫県における本種の記録に関して、伊丹市昆虫館の長島聖大氏からご教示いただいた。お礼申し上げます。

○引用文献

- 長島聖大, 2016. -伊丹に定着- キマダラカメムシ. いたこんニュース第26号, 13(2): 4.
夏秋 優, 2012. 兵庫県尼崎市でのキマダラカメムシの記録. 大昆 Crude, 56: 41.
佐藤邦夫, 2008. キマダラカメムシを兵庫県で採集. 月刊むし, 454: 30-31.
谷角素彦, 2008. キマダラカメムシを大阪府茨木市で採集. 月刊むし, 454: 30.
吉鶴靖則・矢崎充彦, 2005. キマダラカメムシを関西地方で確認. 月刊むし, 418: 25-26.

(Yohei OSADA 大阪市立自然史博物館)

淡路島初記録となるベニトンボを採集

稲畑憲昭

筆者は、これまで淡路島から記録のなかったベニトンボ *Trithemis aurora* (Burmeister, 1839) を採集しているので報告する(図1)。青木(2017)によれば、2016年に神戸市から兵庫県初記録となる個体が得られており、今回採集した個体が県二例目となる。神戸市の記録も近々公表される予定と伺っている(青木, 私信)。